

令和5年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

科目名：政治史・政治思想

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計3ページで6問ある。

1. 政治思想史
2. 政治史
3. 日本政治外交史

6問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 政治史・政治思想 出題分野名 政治思想史

問題1 共和主義 (republicanism) とは何か、また、今日の政治を考察するうえでそれはどのような意義をもつと考えられるか、論述しなさい。あなたの見解を交えてかまわないが、かならず複数の思想家・理論家に論及して、できるだけ多角的に論じること。

問題2 フェミニズムの歴史的展開と、それが現代政治思想に与えたインパクトや影響について、論述しなさい。あなたの見解を交えてかまわないが、かならず複数の思想家・理論家に論及して、できるだけ多角的に論じること。

科目名 政治史・政治思想 出題分野名 政治史

問題1 1930年代ヨーロッパにおける宥和政策について、具体的な歴史的経緯を説明し、その影響について論じなさい。

問題2 1815年から19世紀末までの英国における大きな政治的争点を3つ挙げ、その論争を通じて政党政治が、どのように形成されたのか論じなさい。

科目名 政治史・政治思想 出題分野名 日本政治外交史

問題1 明治期から昭和戦前期の日本において、テロが政治を大きく変えた例を一つ挙げ、その原因、結果と政治史的意義について、歴史的事実に即して考察しなさい。

問題2 1972年の日中国交正常化は、どのようにして実現に至ったか。第二次世界大戦後の日中関係の推移、国交正常化後に残された諸課題を含め、歴史的事実に即して論じなさい。